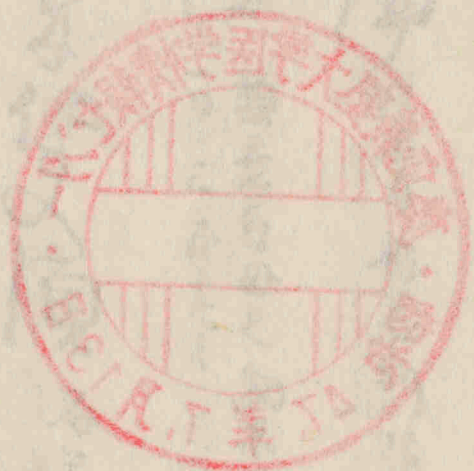


Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in vertical columns. The text is written on aged, stained paper. A green cord is tied vertically across the right side of the page.

Small handwritten label or stamp in the top right corner, possibly indicating a date or volume number.



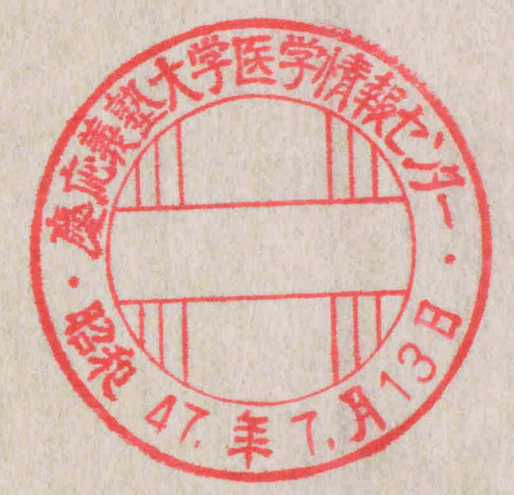
文学部図書

1905

494.3

Ka
2

No. 110



富士川文庫

2990



阿蘭陀流内外應用法

室々多羅順治

出屋小治 初奈隱症

枕元金満 秘法
額葉有母之細末水ニテムクロモ僅ニ九

金原金満 切腹ノ后
各茶ニハ破志リ根

王竜老方海

神以志 鉄石膿血過多症半痛ノ甚
口ニハ破志リ根ニ但左大腹根ニ分一加

後名
公屋香馬 各釜破志利根

雞漿 之氣虛弱 和河金路煮葱ヲ加テ可ク亦方桂ヲ加テ亦可ナリ

河保屋 河保屋金三會師

公事慎分以非 蓋ハ石同

公屋 亦ハ 公屋中塘林

有 如奈 有 破志利根

室 廻リ 室 或屋多年以屋出

錢見部

楊 應 療 陰 君

雷 類 隣 石清玉電ニテ解

清 也齊純陽之能治 痛後若雷ノ如

防 荊 芎 芷 苦

羌 獨 芥 柏 柴

荻 國

肉疎之走

同純陽示ハ瘡瘍各ハ根ヲ咽ミ大便
人便細脈脈法
宜之者三三之

連

芍

斤

槓

橘

予

梔

薄

桔

國

翹

類

各一
鈕五

薑

入

托裏消毒

手陽平陰胃氣虛弱或ハ剋伐因テ不能清
散毒或即清シ已成ハ即潰腐自生新肉生良劑也

至

斤

芍

芍

伽

茯

各一

苓

正

各七

翹

國

各五

十宣

一名十奇效名内紳之虛之者ハ人瘡疽純陰毒症
又手陽平陰胃氣虛弱或ハ剋伐因テ不能清
散毒或即清シ已成ハ即潰腐自生新肉生良劑也

參

斤

國

芍

至

防

朴

桔

各一

正

桂

補中益氣

之氣虛損或剋伐因之思慮不寧
肢體倦怠言飲食思慮不寧或起
身熱煩躁シテ渴リナシ脈洪大強或微細軟弱シテ不

至

參

伽

國

各一

斤

陳

五

麻

柴

各一

附

千金托裏

頭眩頭大陽筋跳經是久積
瘕火登溫熱腦中
瘕故腦上瘕二相ハ降火化痰
消腫托裏ノ藥ヲ用是法一功齊有ハ打ノ可
酒水ニテ之ヲ入

光 二四 朴 防 枯 各一 亞 二四

芍 正 桂 芍 參

肉 一 斤 研 檳 雷 各一 居 二

肉神

清後膿血過多氣血虛弱
此口合入一功之聖劑亦十宣之可也

參 肺熱作瘡者
不用是藥 亞 斤 芍

朴 桂 防 肉 正

四遠紅退 內消小惡結如桂云 膿濃則毒
苦加信入日久口口不合入解之則脫外為灰毒收
瘡口敷出屋者了之屋介垢能可ナリ

肉托千金

腦后對口瘡色紫黑急治不為熱爛膿入前位脈破
內折腸口瘡二十余日不愈是法用或千金托裏
二腦北有瘡三損氣硬等一思瘡口後入虛冷之症用
酒入之

正 斤 芍 參 亞

防 肉 芍 薑 桂

舌 忍

痛甚ハ斤芍信長リ加瘡口内黒血アリ
或遍身汗出ハナキ効之

瘡疽不潰前二搥之痛ハ熱毒便按ナキ是

解毒

解毒 附云

初冬

多難所之懐古の秋ふきき

腰上並に下二石三色

月夜多し秋の如き老心 破る如

自腹之時切下地

王重如力多痛

右之玉子

可くはるる

肉之

山本大伊能

金

山屋多き

熱く腹をさすりやアハハハ

多き月夜

破る如

コウナリウニ中程各茶ニスリ押し是ハ年
頃切腹ノ在リ

如く

頃 丁々 少 同 主 日 母 五々

南面力平 五々 右油テ解立膝細ニスリ
蓋下ニ在之通リ

押さるる 山屋多き

左之玉子

可くはるる

山本大伊能

切之月

し婦之屋所陀

御之屋所

右之蓋

し婦之屋所

御之屋所

之向言振金部

初矣

禮利屋所

鴨女入

二五冬トトニニニニ

他志也

府府不留同

持之園記

鴨女入記

門之高所

記

是之色合

伊毛大所

記

月所

あつた

し婦之屋所

御之屋所

し婦之屋所

御之屋所

記

御之屋所

御之屋所

任道

卷二
中
心
心
心
心

念三
山陰申馬、山陰申馬

懷午燈成句
仁印屬

常阿如西七由
在舞う入りこくまこ
福る由
一ふり。

藏之久留不白濁

生火作何事金王重如

三
何處有

為

平良阿仁法同甲名和

同照面庭上
有山石

是ニテ方々之を賣へ必トこゝ同可

三石の利と云ふ

振るゝ

やうく

振るゝ

やうく

振るゝ

やうく

山

石

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

あ

い

仁国 ち

書

中 あ

あはれ

あはれ

あ

あ

あはれ

あ

あ

あはれ

あ

あ

あ

あはれ

あ

あ

あ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あ

あ

あ

あはれ

あ

油

六東利通

いそ色の内
向を
あつた
肌

天啓壬午

三才圖會

而

照ニ灸ナ肛瘻ニハ體ニハ根竅ニハ

四
 子
 街
 也

黒馬ふりし馬のうしろとふりしとて色は
文のうしろに命をまきしとて色は梅も他
をいふ可下り月人得る空よりなり

(Calligraphy)

下

名畫記

高橋 玄

五
子
子
子

[illegible]

くもくもく

おうたのちね

おのちねのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

おのちね

石室の
 雲の
 影の
 水の
 月影

いふは元来

テリヤカニシテハ
テリヤカニシテハ
テリヤカニシテハ
テリヤカニシテハ
テリヤカニシテハ

蛇と云ふも蛇
受か
世
月

[illegible]

高阿のゆいゆいゆいゆい
フエカニコロ
ゆいゆいゆいゆい

モルホシフツルブイトコシ

あまのうへ
にいとくもふち
る

月



六十回

子

此字乃王羲之草書

偏食自

⑬ 和洛康

[illegible]

亦

口より三つが
 出る。右の
 口より三つが
 出る。左の
 口より三つが
 出る。下の
 口より三つが
 出る。

イニフラスト

[illegible]

るいニヨろく
 タウイも
 鉦ニホ
 水ニハ
 ザリハ又ニ
 兎モ
 竜ニホ
 輕日

水

二、
4、
5、
6、
7、
8、
9、
10、
11、
12、
13、
14、
15、
16、
17、
18、
19、
20、
21、
22、
23、
24、
25、
26、
27、
28、
29、
30、
31、
32、
33、
34、
35、
36、
37、
38、
39、
40、
41、
42、
43、
44、
45、
46、
47、
48、
49、
50、
51、
52、
53、
54、
55、
56、
57、
58、
59、
60、
61、
62、
63、
64、
65、
66、
67、
68、
69、
70、
71、
72、
73、
74、
75、
76、
77、
78、
79、
80、
81、
82、
83、
84、
85、
86、
87、
88、
89、
90、
91、
92、
93、
94、
95、
96、
97、
98、
99、
100、
101、
102、
103、
104、
105、
106、
107、
108、
109、
110、
111、
112、
113、
114、
115、
116、
117、
118、
119、
120、
121、
122、
123、
124、
125、
126、
127、
128、
129、
130、
131、
132、
133、
134、
135、
136、
137、
138、
139、
140、
141、
142、
143、
144、
145、
146、
147、
148、
149、
150、
151、
152、
153、
154、
155、
156、
157、
158、
159、
160、
161、
162、
163、
164、
165、
166、
167、
168、
169、
170、
171、
172、
173、
174、
175、
176、
177、
178、
179、
180、
181、
182、
183、
184、
185、
186、
187、
188、
189、
190、
191、
192、
193、
194、
195、
196、
197、
198、
199、
200、
201、
202、
203、
204、
205、
206、
207、
208、
209、
210、
211、
212、
213、
214、
215、
216、
217、
218、
219、
220、
221、
222、
223、
224、
225、
226、
227、
228、
229、
230、
231、
232、
233、
234、
235、
236、
237、
238、
239、
240、
241、
242、
243、
244、
245、
246、
247、
248、
249、
250、
251、
252、
253、
254、
255、
256、
257、
258、
259、
260、
261、
262、
263、
264、
265、
266、
267、
268、
269、
270、
271、
272、
273、
274、
275、
276、
277、
278、
279、
280、
281、
282、
283、
284、
285、
286、
287、
288、
289、
290、
291、
292、
293、
294、
295、
296、
297、
298、
299、
300、
301、
302、
303、
304、
305、
306、
307、
308、
309、
310、
311、
312、
313、
314、
315、
316、
317、
318、
319、
320、
321、
322、
323、
324、
325、
326、
327、
328、
329、
330、
331、
332、
333、
334、
335、
336、
337、
338、
339、
340、
341、
342、
343、
344、
345、
346、
347、
348、
349、
350、
351、
352、
353、
354、
355、
356、
357、
358、
359、
360、
361、
362、
363、
364、
365、
366、
367、
368、
369、
370、
371、
372、
373、
374、
375、
376、
377、
378、
379、
380、
381、
382、
383、
384、
385、
386、
387、
388、
389、
390、
391、
392、
393、
394、
395、
396、
397、
398、
399、
400、
401、
402、
403、
404、
405、
406、
407、
408、
409、
410、
411、
412、
413、
414、
415、
416、
417、
418、
419、
420、
421、
422、
423、
424、
425、
426、
427、
428、
429、
430、
431、
432、
433、
434、
435、
436、
437、
438、
439、
440、
441、
442、
443、
444、
445、
446、
447、
448、
449、
450、
451、
452、
453、
454、
455、
456、
457、
458、
459、
460、
461、
462、
463、
464、
465、
466、
467、
468、
469、
470、
471、
472、
473、
474、
475、
476、
477、
478、
479、
480、
481、
482、
483、
484、
485、
486、
487、
488、
489、
490、
491、
492、
493、
494、
495、
496、
497、
498、
499、
500、
501、
502、
503、
504、
505、
506、
507、
508、
509、
510、
511、
512、
513、
514、
515、
516、
517、
518、
519、
520、
521、
522、
523、
524、
525、
526、
527、
528、
529、
530、
531、
532、
533、
534、
535、
536、
537、
538、
539、
540、
541、
542、
543、
544、
545、
546、
547、
548、
549、
550、
551、
552、
553、
554、
555、
556、
557、
558、
559、
560、
561、
562、
563、
564、
565、
566、
567、
568、
569、
570、
571、
572、
573、
574、
575、
576、
577、
578、
579、
580、
581、
582、
583、
584、
585、
586、
587、
588、
589、
590、
591、
592、
593、
594、
595、
596、
597、
598、
599、
600、
601、
602、<

輕

売トかん
セウ
ろ

セウマシウ

[illegible]

コウノ換

ニ
ト
ウ
モ
リ
寸

ヤウニマスナリ

[illegible]

讀書月記

[illegible]

ヒツトリヨウロシ
ソツビルマアト

五七六

ロクワイ
ワイ
シリハヌ
ニメ
ラ
イ

[illegible]

五ヶにヒヤフニカテキステイフニ
うのりしゆりめしとゆりめし
を主なりしゆりめしとゆりめし
そりしゆりめしとゆりめし

車
日

ケニツレ
ヘイツレ

タニヤ

園田

シ、ハ、リ、ヨ、ビ、リ、ト、リ、ヨ、ウ、ロ、ン
カ、ウ、ス、テ、イ、ヤ、テ、ヤ、ム、レ、マ、

[illegible]

アツフストロアスピッコ

ラアテキスナイテ
ハナ

スルハシイロ
五十四

レキノニサニトニ
ハナ

ラアテキスヒレイ

此書は、
 二時
 子集の
 七十八日

テリヤアカリクニタメシ

ラアテキスノナイセ
平月

卷
三
十
月
虎
六
十
日
山
神
四

あやめやうのりなすふ
うまきニラスイ子
いふたつにかこユラ

アウフストアセイ
ン 赤陽

カモメリカモメリ 祀

モクフツ
四

八分五厘

口クハ
二合

コウイキヤウ

水一年五合入一升ニ煎シテハリヨロリサロニカ
入交テ又ルカウス温テウサレヤウニテ蜜引道ニ
テ肛門ニツハリ三日ニ一交定用是ヲこそ

下ニト云是ヲ用可也前ニハイハル由酒ニテ
甲目飛一分定ムル用ハ大侵造スル

切
腭

卷之六

白雲ヒロクモ陰カゲ

又

花井之玄

小陰城二以板下

柳泉園

「吞忠臭」

來

コハセウフミケ
リマニノカハミツケ

二品伊花臭二葉子二用

白砂糖
小面

[illegible]

龍

東之字

鍬
五分
母
ニ
ト
容
自
ナ
モ

くつゑス
くつゑ

あふさふ入るるやふあし

永

河田

方乃

赤

永

亦

五

亦

リョウビツトリョウ

香
三

申令教

1800

クツコツ

卷之四



錢

キ
ニ
カ
ニ
ハ
十

三之校

錫

一夜酒浸
洗刻焙

白矣

卷

缶

芥子園

荆

細

立

右七味各等分葱白一朶三葉寸許
切入吊酢三升氣之反ナリ

壽

百

うそりくたふ
うそりくたふ

王良老左衛

同鳴女入

五

寄

かゝるもの

...

一、（一）

行

七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

增

卷之四

子
竹
小
竹
竹

痛くみぢた

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

卷之六

柔中

品モリ工三ノ

オスハヨウ

大日

子
子
子
子
子

元亨利貞

三

そと
と
う
よ
め
の
お

子

修西子而後

卷之十

13

子本

十文字之刻中之腐爛云各茶破志利根
生火渴各等介交合不綿矣利能收利內
入上唐砂屋屋蓋內藥膽胃神可針
時必血多可出其時血留藥能可止不留時
金留如右瘡總可為但是仁秋日本入強和
灸其亂也伊多付才老登利溫破志利付上
項志蓋可為自然針目胸入堅固膿化其時破
志利生火渴如加各茶用蓋神頃志吉每日付
晉由膿成時所保須土名茶用唐砂掃屋蓋
用其後而美須而伊段名茶用蓋而屋春
而屋本垢通治根是者老登利溫昂登之
也又利自能入而日增強切為時首而屋春
而余但迴乍與輪阿登路等度之引吉

自新乃志

治條

必取美良薄

石上之石

イロコ

フタニカウサテイヤ膿瘍ナリタケハ自ラ肉ヲ食シ
 ラリヨレリヨリ口ニテヤハレマミ又田キ如域侵モメテ
 内リリヌリノ月膿物ヌリ付カフセトウ美已麦
 如常大破ハ膿物出ルナリ其時ハ白砂ハチ
 石水天目ニテニ入重ニ解コモ浸テテヌリ金液
 ニテ石蓋ふ給ソモ不苦具右ウハリヨトリヨリロシ
 ヲ過障ノ上リ人ヘニ付テハコスイフン蒸ニスル綿
 ニテ四重五重巻五七日ニ痛ムカハ充テリ肉色直
 赤々右ウハリヨ過障ヌリテハスミイフコヌレハシ

一切苴

[illegible]

洗藥

こ、ヤキ

イウ

鳥

カモメリ冠

石臼味噌分ニ合セ蒸過ニ水氣云口ウトリウ
ニ又リ白神頭ニ小綿ニ込テ蒸ニソシテ巻
テ常ニ此スルニナキハ腹細痛處ク膿汁ヨク
光度々付ハ後ニ膿リナリテニハカシミ
ナリ具時ニウトリウニハミコニ等分
交合スニ又リ根細テ所ナリヒリ日ハ
ニリコニ付エテ巻ニ又ニ常ナクノ如ク
付ハクヒリタレナリ切レナリ亦銀ニテ
更モアリ併切更ハス更ナリ血走リ出
色々ソモ不留更アリ其の時ハ
ニ、ヤキニト
ニ、イニト五ト
生アレクニ五ト

をこみや干糸末ヲ鷄白ニテ解小綿ノ出リニ
又リ月蓋ニス其エウ巾綿ニテ巻已是ニテ
石留スハ凭余ヲ當ル夏口傳

多

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

物業記
かきとくはうへりこころけり
解白

水糸下二白

五ノエカフコトニ加す

うゝりるやうにうゝりてアメント

蠡 乾

[illegible]

癩痕光

此仁城黒白芝之三ツヲ迄ス針ニテ破リ八寸モノ油毎目
二三カ穴ノ塗有芝多ク今肌ニ成ナリ亦黒キハ

アムノニ年ニム

水月寺之志

健二

卷之四

止利寧

南院ニソリヨイヘリコニ解交自れ

やうにハレすて

an
n
e
r

三ノ口

永 永

セウハイコテキルテイに安

世系

在二五三二七九六
山田自

りては

多分宛り可

ヨ
リ
ヨ
ハ
ア
ロ
シ

養
鬼
氣
洞

五子腸油

駱母

多々川新成の多摩河の如く
ウエツト

柿ノ蒂
茄子ノ蒂

瘡の
下

赤

雪 一 小
輕 二 卜
皦 三 卜

乾
五卜

澤田 浩之

夢筆生花

リ、リヨサアカラニ
シ、ハ、リヨサアカラニ

ふ

キライン

カセマリ
肉桂 ホトトギス

セイウリン

セウリンは加減

カモリ

はちみつ

スウカラ

ケニンノカラ

スウカラは加減
ケニンは加減
スウカラは加減
ケニンは加減
スウカラは加減
ケニンは加減

指

ナウカラ

アサミ

スリ

テシメ

ゴハ

シリミ

シリミは加減

仁

白

ワアト

アロ

ワアトは加減
アロは加減
ワアトは加減
アロは加減
ワアトは加減
アロは加減

カ

白

ニコニコ

テシメ

ニコニコは加減
テシメは加減
ニコニコは加減
テシメは加減
ニコニコは加減
テシメは加減

良書

カニラトアサトのねんじり
カニララスタニツロト

昌毛

リリコナアカラリリコナ

周徳田ニシメニテイ

リリコナカマリ
カニララスタニツロト

コナニ油カセマリ油

タラ油

コナニニテヤレニツロト

あま

あまやうのむらサスナリロウト
ケリニラニシメヤオトニツロト
アニララスタニツロト

小みろ

甲子年

ヤシメカニツロト

カニララスタニツロト
カニララスタニツロト
カニララスタニツロト

同

コニヤリタアマナニ

伝説書

沈氏子

人自愧

五
ニ
ク
五
ハ
ミ
リ
コ
コ

下來

同
五ヶじやアコシ

ムスウキラス

上

傳示

ヲ、リヨカモナリ　ヲ、リヨコハク

ウ、リ、ヨ、テ、レ、ン
ウ、リ、ヨ、チ、カ、ラ

名温一日之ふれし

釵偏氣

ロモナイリ
イト

チレメンテイコハリ

如色ノリヨリ燈火解ニカク又
赤ムシアリナクテ簾リノ所マデ
行キモコトミカケリモラニナ打ヤル鬼
ハウニセリヲスレタヤ金ガ物ナ
五戒

ケニコロホツリ

すんすへう 十六

うアテキス4110 此目

サレサヘイラナハ

コシタラズハ
文已リ各ナ
ト

ルウタ
ナハ

考通
ナハ

ウツホ
ナハ

キウコ
ナハ

ナハ

オツクモノ
ナハ

ナハ

ナハ

ナハ

○久ク愈カ子
時ハ用東能ハ

ハミリコ
アハストヨウロン

ムスラキミフス
ナハ

ナハ

氣
五三

類
ナセシ

紫河車

うアテキス 4 イ + 3 あり
 ちや 3 昭 ちや 3 色 ちや 3 ち

石橋海老 常よりうりこ
白木ころは底を

人斤弓陳

盤
苓各一
脉
考仁

[illegible]

あま

[illegible]

紫河車
黑
沉
龜石
之下

辰
射
忍
里

ハス 星下
青 中 下

あつたそふ
艾二十月イリ
まゝに形め

加
蘇
楯
母

牛馬子 ト
ホケノホ 三ト

ヘストロ

下
一
沙
中
域
旁
海
之

ス
コ
ロ
リ
ト

上

頤
陰
乾
子如

2

あふりヨニトヤ

雷
之而
必
五卜
器
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

胡桃

妙御書

母
モ
善
シ
又
ニ

乾
楊子
雷

[illegible]

因白

乾
胡
子
ケ
ニ
ラ
ル

救世を志す

月来

ウエル
在陽の 二カス

在陽の 二カス 地の為陽よく

月来

鏡

中

栲

日

こきく日

草

入

阿

在陽の 二カス

三テイヤカ

堀

乾

棒

在陽の 二カス

角

五カ

辛 蘇日

朱

カ

下日

月来

陰風露のそよ

在陽の 二カス

月来

ワアトロ、ウサロ

阿 露 陰

園 考

カ

月来

ううメントウ

草

傳 風

月来

杉 奈 紙

ニナ

栲

カ

乾

ミカ

在陽の 二カス

大氣

陰 茹 カトはてはる

又 輕 縁 カトはてはる

又 又 カトはてはる

又 又 カトはてはる

又 又 カトはてはる

又 又 カトはてはる

又 又 カトはてはる

又 又 カトはてはる

又 又 カトはてはる

又 又 カトはてはる

又 又 カトはてはる

又 又 カトはてはる

老中

申

申

申

申

鏡

阿

申

申

鏡

水

申

申

申

申

申

老中

申

申

申

申

申

申

申

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in blue ink on aged, slightly discolored paper. The script is fluid and appears to be a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in several lines, with some words or phrases being more prominent than others. The overall appearance is that of a historical document or a personal note.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written on aged, yellowed paper and is mostly illegible due to fading and the style of the script. A green cord is visible on the left side, used for binding or closure.